

## 第1回地域づくり委員会

10月11日(金)広島市において、古瀬委員長をはじめ約60名の委員の出席のもと、2019年度第1回地域づくり委員会を開催した。

当日は議事に先立ち、国土交通省中国地方整備局港湾空港部長 坂井功氏から「最近の港湾・空港行政の動向について」と題して講演をいただいた。

引き続き、2019年度上半期の委員会活動報告、11月実施予定の国・関係機関に対する要望事項(案)について審議し、原案どおり承認された。



### 【議事概要】

- (1) 2019年度上半期実施状況報告
  - (2) 2019年度中国経済連合会要望事項(案)
- いずれも、原案どおり承認された。

### 【講演要旨】

#### 「最近の港湾・空港行政の動向について」

国土交通省中国地方整備局  
港湾空港部長 坂井 功氏



令和元年度 中国地方整備局 港湾・空港関係予算の基本方針並びに国(国土交通省)が中国ブロックで進めている港湾・空港事業に係る主な施策を紹介する。

#### ①港湾関連予算

中国地方整備局港湾・空港関係予算は、港湾整備事業費162.8億円、海岸整備事業費14.2億円、空港整備事業費3.6億円。全体で対前年比1.28倍。

#### ②PORT2030の策定と基本方針の見直し

2030年を見据えた中長期政策「PORT2030」を平成30年7月に策定し、港湾計画策定時の指

針となる「基本方針」の見直しを実施(令和元年6月告示)。

インバウンド増加、人口減少社会、巨大災害への備え、資源獲得競争の激化など、世界動向も見据えた港湾政策の方向性8本柱を策定。

#### ③主な政策(現状と課題)

##### ■クルーズ需要への対応

2018年のクルーズ船寄港実績は全国2,930回(前年比6%増)、中国地方511回(同比69.8%増)。

過去5年間(2014~18年)のクルーズ船寄港実績は、全国で約2.4倍増、中国地方で約9.3倍増。

クルーズ需要の取り込みにより、クルーズ船寄港が地域経済に与える効果の拡大が期待されるが、港湾施設や寄港で生じる諸課題への対応が不足。

これを受け、平成30年12月に瀬戸内海クルーズ推進会議を設立(代表:中国経連 荻田会長/事務局:中国地方整備局)し、瀬戸内海の多島美を活かしたクルーズ振興に、近畿・中国・四国・九州の4地域が一体で取り組んでいる。



9万トン級クルーズ船寄港イメージ図  
出典:広島県HP  
広島港の「国際交流基盤の強化」の受入イメージ

##### ■国際バルク戦略港湾施策の推進

エネルギー・資源獲得競争の激化により、世界では貨物船の大型化が進展。我が国は、大型船対応の港湾が限定的であるため、全国各地に点在する企業間の連携による大型船を活用した一括大量輸送(効率化)への転換促進を公共事業で支援。

### PORT2030の方向性8本柱

1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築
2. 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築
3. 列島クルーズアイランド化
4. ブランド価値を生む空間形成
5. 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成
6. 港湾・物流活動のグリーン化
7. 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靭化
8. 港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開

## 活動報告

バルク戦略港の徳山下松港・宇部港（石炭）、水島港（穀物）、水島港・福山港（鉄鉱石）で施策推進。

### ■地域の基幹産業の競争力強化

中国地方の基幹産業である製造業の競争力強化へ向け、既存の岸壁やふ頭用地等の有効活用によるふ頭機能の再編、船舶大型化へ対応する港湾機能の強化、日本海側海上輸送網のミッシングリンク解消等に取り組む。

### ■国民の安全・安心の確保

大規模地震発生時も地域経済活動を支える物流機能の維持、住民の避難及び緊急物資輸送ルート確保等の備えとともに、非常災害時にお

ける緊急確保航路の指定や国土交通大臣による港湾施設の管理など、ハード・ソフト両面の対策による「地震に強いみなと」の実現を目指す。

平成30年7月豪雨災害を踏まえ、中国地方国際物流戦略チーム（本部長：中国経連 刈田会長）による物流・ネットワークの強靱化等の取り組みを推進。

### ■地域の活性化と豊かな暮らしの実現

「みなとオアシス」などを拠点に住民交流や観光振興など「みなと」を核としたまちづくりの促進、良好な海域環境の保全・再生・創出などへの取り組みにも力を入れていく。

（担当：齊藤）